



Title	臨床哲学のメチエ 第18号 目次
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 2012, 18
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23013
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

臨床哲学のメチエ

臨床の知のネットワークのために Vol.18 2012 春号

現場で / と考える

臨床哲学独特の現場とのかかわり。今回はそれを「現場で / と考える」と表現してみました。今号は外国にルーツをもつ人々や ALS 患者とのかかわりに加え、中学校、高校、幼稚園などさまざまな現場で考えたことやその場の人々とともに考えたことが綴られています。じぶんが立っている / 訪ねていく現場とは、そこで考えるとはどういうことなのか。メチエのページをめくりながら、ともに考えてみませんか。 (くすもと ようこ)

Contents

特集 1：さんかふえを振り返って	1
「さんかふえ」のこれまでとこれから	2
特集 2：在住外国人との語り合いカフェ	15
対話の場所でにじみだすもの／辻明典	16
人との出会い、問いとの出会い／服部佐和子	18
特集 3：であいもののづくり — ALS 春の和歌山合宿を通して—	21
春、和歌山で「会う」／楠本瑤子	22
デンジャラスもしも・きらいな毛玉にやさしくなる時／behblues	24
ALS 患者との出会いと「ほぐすんです」の製作／白石駿也 & 田原航平	26
ものづくりから気づくこと — 誰が製作するのか — / 始関千鶴	28
考え、悩み、つながる瞬間	
— 吹田第三幼稚園での対話の試みから — / 山本聖人	32
「ある戦いの記録」から皮肉屋との対話／中川雅道	35